

講義名	課題演習（経済）		
科目区分	実学系演習科目		
担当教員	上田 義朗		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限		
	2019年度 大学院（修士課程） 修士課程（修士論文作成コース）		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	23502

主題と概要

開発経済学や国際経営論の先行研究を参照しながら、東南また西南アジア諸国における経済成長および企業成長の現状と課題解決を具体的に検討することが主題です。
 本講義では、受講生に複数または単独の国・地域を選択してもらい、その経済環境や経済成長の現状と課題が企業また事業レベルで考察される。そのことを通して、発展途上国における経済成長と企業成長の動的なメカニズムを具体的に・多面的に理解する

到達目標

1. アジア経済の動向について多面的な分析力が向上します。
2. アジア企業の成長要因が構造的・制度的・戦略的に理解できるようになります。
3. いわゆる「開発経済学」の理論と応用を具体的に検討することができます。
4. ビジネスの課題解決力が養成されます。

提出課題

毎回の講義での発表。その集約によって修士論文の1～2章が完成することが理想です。

評価の基準

毎回の講義における発表内容と議論に対する貢献度。

履修にあたっての注意・助言他

講義の前半では、経済・ビジネス問題の一般問題を議論し、後半では、受講生の個別課題について、発表・議論します。

教科書

.使用しない.

プリント資料及び参考文献

プリント資料を講義前に配布します。参考文献は適時指示します。

授業計画

1. 東南アジア諸国の概要（ジェトロ資料など）+ 受講生の課題発表
2. 南西アジア諸国の概要（ジェトロ資料など）+ 受講生の課題発表
3. 開発経済学の体系（先行研究の概要と要約）+ 受講生の課題発表
4. 開発経済学の体系（先行研究の概要と要約）+ 受講生の課題発表
5. 国際経営論の体系（先行研究の概要と要約）+ 受講生の課題発表
6. 国際経営論の体系（先行研究の概要と要約）
7. 「開発経営学」の可能性 + 受講生の課題発表
8. アジア進出日系企業の事例研究（先行論文の検討）+ 受講生の課題発表
9. アジア現地企業の概要と特徴 + 受講生の課題発表
10. アジアビジネスの課題解決の事例（ベトナム）+ 受講生の課題発表
11. アジアビジネスの課題解決の事例（ベトナム）+ 受講生の課題発表
12. アジアビジネスの課題解決の事例（ネパール）+ 受講生の課題発表
13. アジアビジネスの課題解決の事例（カンボジア）+ 受講生の課題発表
14. アジアビジネスの課題解決の事例（スリランカ）+ 受講生の課題発表
15. まとめ + 受講生の課題発表の総括

予習・復習

- 【予習】講義前に資料を配付するので必ず読んでおく。
- 【復習】講義の最初に前回の講義の要点を質問する。

備考

開発経済学と国際経営論を相互補完・融合させるという理論的な意義をもった講義です。英語文献を使用することもあります。